

よくあるご質問にお答えします。

Q1 自然保育の安全管理は大丈夫ですか？

認定基準には各園の保育者が安全管理に十分配慮することが明記されており、県主催による安全管理の研修等も定期的で開催しています。自然保育は屋外で過ごす時間が長いので、服が汚れたり小さなけがをすることもありますが、安全管理を徹底した上で、冒険したいと思う子どもの主体性や、子ども自身が自分の安全を守ることを学ぶチャンスも大切にしたいと考えます。

Q2 外で遊んでばかりでは、小学校の学習についていけないのではないですか？

幼児期から学童期にかけて「学びの自立」、「生活の自立」、「精神の自立」の3つの自立を養うことが重要だと言われていますが、そのためには、子どもが幼児期からたくさん遊びを通して様々な体験を重ね、自らの興味関心を高めることと、達成感や他者への信頼感といった感情面を十分に育むことが大切であり、それが小学校での学習能力や表現力を高める基礎になると考えます。

Q3 屋外活動の時間が規定されると他の行事や活動と両立が難しいのでは？

普及型は「3歳以上の子どもの屋外での体験活動が、一週間で合計5時間以上」、特化型は「屋外での体験活動が、一週間で合計15時間以上」という基準を設けていますが、一週間で合計5時間又は15時間以上なので日によるばらつきは許容します。「できるだけ意識的に、かつ継続して屋外での体験活動を行ってほしい」というのが時間基準の意図であることをご理解ください。時間基準は自然保育の取組を客観的に評価する一つの尺度ですが、大切なのは保育の内容とその質の高さだと考えますので、各園の実情にあわせた創意工夫を期待します。

Q4 認定を受けた園(団体)にはどのようなメリットがありますか？

自然保育の質の向上を目的とする県主催の各種研修会や交流会に参加したり、自然体験や安全管理の専門指導者を派遣してもらうことが可能です。また、自然保育ポータルサイト「信州やまほいくの郷」に開設されている各園のページではそれぞれの活動内容をアピールできますし、県も各園の名称や活動内容を県内外に積極的に広報いたします。さらに、H29年度より公的支援を受けていない団体への助成制度、H30年度からは「長野県森林づくり県民税」を活用した活動フィールド等整備のための補助金も創設されるなど、様々な支援によって、自然保育に取り組む園の保育・幼児教育の質の向上と充実を図ります。

Q5 自然保育や認定制度についての説明会はありますか？

市町村担当者、認定申請をご検討の園の関係者、保護者や地域住民のみなさまなどを対象とする説明会を必要に応じて開催いたします。また、個別お問合せにもお答えしますので、お気軽にご連絡ください。



自然保育支援の3本柱

保育と幼児教育の多様性を尊重し、子どもがまんなかの“子育て先進県”を目指します！

いま、日本の子どもの自己肯定感の低さや孤立感の広がりは深刻な状況になりつつあり、長野県の子どもたちも例外ではありません。子どもの自己肯定感の向上には、子ども一人ひとりの多様な個性や能力に応じた「出身と居場所」、そして「その子に合った育ち方の保障」がとても重要です。

自然の懐は広く深く、子どもも大人も受容し心身の解放を促してくれます。全国有数の豊かな自然を誇る信州だからこそ、もっと自然を身近に感じ、地域の中で様々な体験ができる環境を大切にしたいと考えます。幼児期の豊かな体験が子どもの育ちをしっかりと支える“人生の根っこ”となり、どの子どもも「しあわせ」が実感できる“子育て先進県”の実現を目指します。

自然保育ポータルサイトは「信州やまほいくの郷」で検索！
(www.shizenhoiku.jp)

自然保育の様々な事例やイメージ動画を観ることができます。
自然保育認定園を地域や活動内容等で検索することができます。

自然保育のお問合せは、長野県県民文化部次世代サポート課まで

〒380-8570 長野県大字南長野字幅下692-2
TEL: 026-235-7207 (直通) FAX: 026-235-7087
E-mail: jisedai@pref.nagano.lg.jp

これは、信州やまほいく(信州型自然保育)普及のためのリーフレットです。(平成30年3月発行)



信州型自然保育認定制度

信州やまほいく認定制度



豊かな自然と温かな地域の中で、子どもたちの“人生の根っこ”を育みます。



市町村別 認定園数

(H30年3月末日現在)

北信地域 8市町村 35園 (公立24園、私立11園)

長野市(21)、須坂市(2)、中野市(1)、信濃町(4)、飯綱町(4)
高山村(1)、木島平村(1)、小川村(1)

東信地域 6市町 34園 (公立24園、私立10園)

上田市(2)、小諸市(1)、佐久市(20)、東御市(5)
佐久穂町(4)、軽井沢町(2)

中信地域 7市町村 40園 (公立30園、私立10園)

松本市(10)、大町市(1)、塩尻市(3)、安曇野市(21)
木曾町(1)、池田町(2)、筑北村(2)

南信地域 6市町村 43園 (公立31園、私立12園)

飯田市(21)、伊那市(4)、駒ヶ根市(13)、富士見町(1)、箕輪町(3)
中川村(1)

保育所、幼稚園、認定こども園、認可外保育施設、野外保育団体など、公立私立問わず、様々な団体が参加し学びあう、全国初の自然保育の認定制度です！

27市町村に及ぶ
152園を認定

各園の活動の詳細は、自然保育ポータルサイト「信州やまほいくの郷」をご覧ください。



信州の自然保育とは

「信州の豊かな自然環境と多様な地域資源を活用した、屋外を中心とする様々な体験活動を積極的に取り入れる保育・幼児教育」です。「子どもの育ち方は一人ひとり多様である」ことを大人が理解し、子どもが生来持っている「自ら学び成長しようとする力」が、自然や地域の中での体験活動を通じて十分に育まれることを大切にします。幼児期の子どもは、遊びを通じて人間関係なども学んでいきます。大人が干渉しすぎず、自然の中で思う存分に活動することで、子どもはたくましく成長できるでしょう。小学校以降も子どもたちの学びの原動力である「わくわくドキドキ」の感性が持続し、将来の自立した人生につながる「自己肯定感と自信」が育まれることを期待します。

長野県ならではの取組みに

長野県は全国4位の広大な県土を有し、その約8割が森林です。また、多様な地域性（村の数は日本一）や、全国最多の野外保育団体（森のようちえん等）の存在など、子どもの豊かな体験活動に適した環境が整っています。そんな長野県が全国に先駆けて自然保育の普及に取り組むことで、信州の子育てや教育環境の素晴らしさと、各自然保育認定園の充実した保育・幼児教育に全国から高い関心が集まることを期待します。長野県では木育や食育、環境教育なども盛んですが、それらとも密接に連携しながら、長野県ならではの「信州学」の発展にも貢献します。

新しい子育てスタイルを県内外に発信

自然保育は、家族や地域住民とのつながりを大切にします。子育てはみんなで支えあい、大変さも楽しみも共有することが重要です。そんな思いが広がれば、保護者の子育てのストレスもきっと軽くなり「子どもが増えてもいいな」と思えるかもしれません。

美しい自然の中で子どもをのびのび育てたいと、首都圏からのアクセスが良い信州への移住を考える若い世代も年々増えています。幼児期に信州で過ごした子どもたちは、きっと心身共に健康となり「自分らしく生きていく力」を培うことができるでしょう。

子ども一人ひとりの特性やご家族の希望、また保育者の思いを最大限に尊重する信州の自然保育を、長野県は県内外に強力に発信します！

“銀座 NAGANO”でも定期的に自然保育セミナーを開催！

子どもたちに多様で豊かな直接体験を

子どもの成長において「好奇心や創造力」、「自己肯定感や主体性」、「コミュニケーション力や共感性」、「忍耐力や自立心」、「健康な身体と体力」などが十分に育まれるためには、子どもの感覚が豊かに刺激される様々な事物と触れ合う「直接体験」がとても重要です。体験活動には、「自然体験」と、地域の伝統文化に関わる活動や農作業などの「生活体験」の両方が必要ですが、それらに基づく学びこそが、国が進める「アクティブ・ラーニング」や「生きる力の育成」にもつながると考えます。

自然保育を体験したい方はお気軽にお問合せください！

“人生の根っこ”は幼児期に育まれる

自己肯定感、創造力、レジリエンス（耐久力、回復力）、社会性、規範意識、意欲、主体性など「人間力の基本」となる能力を、ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・J・ヘックマンは「非認知的スキル」と呼び、乳幼児期の早い段階から意識的に育むことが将来にわたって重要であると指摘しました。この「見えない能力」が“人生の根っこ”として伸びていかなければ学力等の「見える能力」も大きな花を咲かせ実をつけることは難しいでしょう。長野県は、自然保育に取り組む保育・幼児教育の実践者と連携しながら、子どもの幼児期の学びの質と環境の充実を追求します。

信州やまほいく（信州型自然保育）認定制度が目指すもの

自然保育の理念と実践を多くの保育者や保護者、地域のみなさんと共有したい。そして子どもたちと一緒に様々な体験活動に取り組んでいただきたい。そんな願いを実現するため、自然保育の価値を県が率先して評価しようと制度を創設しました。制度を通じて自然保育の社会的認知や信頼性と質の向上を図り、県内の保育や幼児教育に携わる方々が積極的に自然保育に取り組んだり、保護者が安心して子どもを託すことができる自然保育環境の充実を目指します。

自然保育の学びあいや交流の場が県内各地に広がり、保育者、保護者、地域、市町村、県がそれぞれ主体的に関わりながら「子どものしあわせな未来」を一緒に創りあげていくことが、この制度が目指す姿です。

自然保育の認定園で働きたい方や自分で始めたい方も大募集中！！



豊かな自然環境と様々な地域資源（文化、伝統、人材等）に生まれ、たくさんの遊びと学びが保障される「しあわせな幼児期」を信州で体感しませんか！

